心のふれあい 花のよう
ふれあい
［グループ理念］ ともに歩む、ともに生きる
日本医療機能評価機構 認定病院(3rdG:Ver.2.0) 山陽病院 山陽腎クリニック
ISO 9001 QUALITY MANAGEMENT UKAS MANAGEMENT SYSTEMS 0015
144
2026.1発行
TAKE FREE
辰川会 広報誌

第26回 辰川会グループ研究発表会

特別養護老人ホームひかり 公認心理師 石田紀香

10月19日に辰川会グループ研究発表会が開催され、医療事業部の4部署、介護事業部の2部署が発表しました。

私は、「認知症チームケアの取り組み ～統一したケアを目指して～」という演題で、BPSD（認知症高齢者の心理・行動症状）の重症度と介護負担度の軽減を目指したケアの有効性を報告し、最優秀賞をいただくことができました。

特別講演では、詩人で、認知症のお母様の介護経験を持つ藤川幸之助先生がご登壇されました。先生は詩の朗読を交えながら、介護における家族としての心の葛藤や気づきについてお話されました。私は特に、「認知症の母に教えるのではなく、反対に教わっていた」「母の存在に耳を澄ます」という言葉が印象的で、私自身、施設をご利用の皆様と関わる日々のありがたさや大切さを改めて実感する、大変貴重な時間となりました。

	演　題	所　属	発表者
最優秀賞	認知症チームケアの取り組み～統一したケアを目指して～	特別養護老人ホームひかり	石田紀香
優秀賞	薬剤科の取り組みを経営視点で評価する	山陽病院 薬剤科	橋本修
努力賞	新人目線で紹介！！地域包括支援センター野上の業務	地域包括支援センター野上	服部未桜星

辰川会グループ×福山シティFC ～夢をともに～［第2弾］

2025シーズン、福山シティFCはJFL昇格を目標に挑戦を続けてまいりました。結果はあと一歩及びませんでしたが、地域の皆さま、そしてパートナー企業の皆さまの温かいご支援に支えられ、最後まで一切妥協することなく戦い抜くことができました。改めて心より御礼申し上げます。

私たちは、勝敗だけでなく、地域に根ざし、人とまちの想いを背負い、共に歩み続けるクラブであることを何より大切にしています。この悔しさを決して無駄にすることなく、体制強化と足元の見直しを着実に進め、2026シーズン、必ずJFL昇格を成し遂げます。

「FOR THIS CITY ― このまちと、ともに。」

福山の未来のために、覚悟を新たに、これからも一歩一歩、歩みを止めることなく挑戦し続けます！

福山シティFC 事業本部長 新谷まみ

「患者サポート室」開設のお知らせ

透析治療を続けながらの生活の中で、通院のこと、日々の暮らしのことに不安を感じることはありませんか？

山陽腎クリニックでは、患者様やご家族の困りごとや不安に寄り添い、毎日を安心して過ごしていただけるよう、昨年12月に「患者サポート室」を開設いたしました。

お問い合せ先　山陽腎クリニック　TEL 084-928-5500

こんなお困りごとはありませんか？
- 運動やリハビリをしてみたい
- 通院が難しくなってきた
- 介護サービスについて話が聞きたい
- 最近もの忘れが増えてきた

どんな小さなお悩みも、お気軽にご相談ください。専門スタッフが患者様とご家族を支えます。

腎臓病教室・糖尿病教室のお知らせ

山陽病院では、腎臓病と糖尿病の教室を開催し、専門職が病気の知識、薬、食事、運動など、皆さまに役立つ情報をお伝えしています。

その他にも、皆さまのもとに出向いて様々なテーマで出張講座を行っています。「こんな話が聞いてみたい」というご要望がありましたらお気軽にお問い合せください。

お問い合せ先　辰川会事業本部　TEL 084-926-9105

3月28日の腎臓病教室は、管理栄養士による腎臓を守る食事のコツや正しい血圧の測り方など、楽しく学べるイベントを行います。どなたでも参加できますので、お気軽にご来院ください。

3月28日（土）13:00～14:30
山陽病院1階ロビー

Merry Christmas

辰川会グループ各施設でクリスマス行事を開催しました！

医師や職員によるウクレレやハンドベル演奏、サンタ姿の理事長や施設長が入院患者様やご利用者様へプレゼントを渡し、笑顔溢れるひと時を過ごしました♪

こんにちは赤ちゃん

赤ちゃんが誕生しました★

山陽病院・リハビリテーション科
理学療法士　近藤さん
2025年9月出産　第2子（女）

山陽病院・透析室
臨床工学技士　尾原さん
2025年9月出産　第2子（男）

山陽病院・地域連携室
事務　千葉さん
2025年9月出産　第3子（男）

山陽病院・外来
看護師　田中さん
2025年11月出産　第2子（女）

辰川会グループ

［医療法人辰川会］

山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号　Tel（084）923-1133(代)　Fax（084）923-1158

山陽腎クリニック 人工透析外科/人工透析内科
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号　Tel（084）928-5500(代)　Fax（084）928-5535

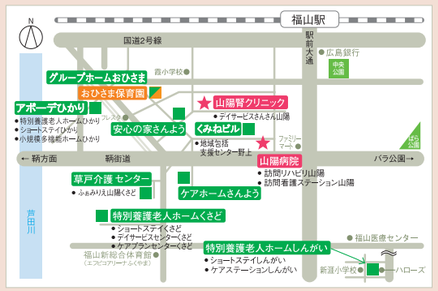
山陽ぬまくま腎クリニック 透析外科/透析内科/外科/内科
〒720-0311 福山市沼隈町草深2031-1　Tel（084）980-0034(代)　Fax（084）987-3450

［社会福祉法人さんよう］

特別養護老人ホームくさど
〒720-0831 福山市草戸町5丁目8番24号　Tel（084）973-9911(代)　Fax（084）928-9988

特別養護老人ホームしんがい
〒721-0955 福山市新涯町3丁目19番27号　Tel（084）961-3955(代)　Fax（084）9261-3950

特別養護老人ホームひかり
〒720-0831 福山市草戸町3丁目6番1号　Tel（084）961-3480(代)　Fax（084）961-3484



［辰川会グループ事業本部］　〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号　TEL：(084)926-9105　URL：https://www.sanyo.or.jp

第3回 さんようスタンプラリー開催

事業本部　細川富巳子

11月9日、山陽腎クリニック1階とデイサービスさんさん山陽を使い、透析患者様向けのスタンプラリーを開催しました。このイベントは、患者様の生活習慣向上と交流促進を目的に開催しており、今年で3回目を迎えました。

会場には、患者様が必要な知識や運動を楽しく学べるように様々な体験ブースを設けました。栄養相談では塩分・カリウム・リンの含有量を比較するクイズや、日々の食事管理についてワンポイントアドバイス、体力測定では片脚立ちによるバランスチェックと握力測定、フットケアでは足の観察方法や爪の整え方について専門的なアドバイスを行いました。その他にも脳トレやフレイルチェックなどのブースを用意し、患者様が熱心に説明を聞きながらご自身のお身体と向き合われる姿が印象的でした。

このイベントを通して、普段話す機会の少ない患者様同士の交流が深まったほか、様々な職種のスタッフで患者様を支える「チーム医療」の大切さを改めて実感しました。今後も患者様の笑顔につながるような工夫を凝らした取り組みを重ねていきたいです。

中途採用ステップアップ研修

事業本部　大浦圭子

11月1日、福山少年自然の家で中途入職者向けの研修を実施し、20代から40代まで、様々な部署から11名が参加しました。この研修は、社会人経験を積んだ中途入職者が、自ら一歩踏み出すことの重要性を共有し、組織人としてステップアップを実現できるよう、昨年から実施しているものです。ゲームや野外活動を通じて部署を越えた人間関係の構築を図ったり、豊かな自然の中で心身ともにリフレッシュすることも目的としています。

参加者からは、「部署を超えたつながりができ、心強く感じた」「同僚の新しい一面や魅力を発見できた」といった前向きな声が寄せられました。今回の研修で生まれた新しい絆と学びが、参加者の皆さんのさらなる飛躍につながると嬉しいです。

職場体験・フィールドスタディ受入

事業本部 伊藤敏靖

10月と11月、山陽病院では未来の医療人を目指す若い世代の皆さんを迎え、たくさんのエネルギーをいただきました。

10月15日には近畿大学附属福山中学校の3年生3名が、また、11月13日、14日は、銀河学院中学校の2年生1名が職場体験学習に来られました。両校の生徒たちは、主に看護師の業務を中心に見学・体験し、医療の現場に対する理解を深めました。

10月28日には、銀河学院高校の1年生5名をフィールドスタディで受け入れました。今回は辰川会グループのゆるキャラ「ともにゃん」をいかに人気者にして、山陽病院を地域に愛される病院にしていくかという企業課題をテーマに、一緒にアイデアを出し合いました。「難しいことを柔らかく伝えられる」というゆるキャラの特性に着目し、若い世代ならではの自由な発想やアイデアを求めてこのテーマを設定しました。参加した生徒の皆さんはいずれも医療職に興味を持っており、熱心な姿勢に受け入れた私たちも大きな刺激をいただきました。

第1回 レスポタリティ・グランプリ

山陽病院 医事課 受付クラーク　細川奈未

11月13日に大阪で開催された「第1回レスポタリティ・グランプリ」に、同僚の受付クラーク岡本さんとともに出場し、準優勝をいただくことができました。

レスポタリティとは、Response（対応力）とHospitality（思いやり）を組み合わせた造語です。初開催となった今回の大会には、医療福祉関係の6施設が参加し、実際の医療現場で発生する様々な困りごとをテーマに、ロールプレイ形式で応対の質やチームの連携力を競いました。

私たちに与えられたテーマは、「認知症患者様への応対」で、本番ではとても緊張しましたが、直前に辰川理事長や狩野院長、そして多くの同僚職員からの応援動画がサプライズで流れ、大きな勇気をいただきました。

医療現場において、患者様とそのご家族に安心を提供するための接遇はますます重要になっています。今後も「レスポタリティ」の精神を体現できるよう、応対力と思いやりの心を日々磨いてまいります。この大会の様子は、yahooニュースでも取り上げられ世間の関心の高さも窺えました。

第7回 福山透析学術講演会

山陽病院 外科部長 医師　毛利教生

11月8日に、第7回福山透析学術講演会を開催しました。今回は、全国の講演会で引っ張りだこの、津みなみクリニック　総看護師長　坂田久美子先生に『私たちが紡ぐVA管理』というテーマでご講演いただきました。多忙な坂田先生のご登壇が実現し、大変嬉しく思います。先生の人気の秘密は、高い知識や技術はもちろんのこと、その全ての原動力となっている「患者さんへの深い愛と情熱」です。

今回の講演会では、他院との情報共有のためのオリジナル治療手帳（交換日記のような形式）を自作したり、患者さんが日々過ごされる介護事業所での出前講座を行ったりといった活動が紹介されました。

「患者さんのために」を貫く行動力に感銘を受け、私たちも「患者さん目線での温かい治療」の重要性を再認識する貴重な機会となりました。

本講演会は、全国で活躍されている先生方をお招きし、定期的に開催しています。次回もぜひご期待ください！

第34回 中国腎不全研究会学術集会

山陽腎クリニック 臨床工学技士　平田玲央

11月30日、第34回中国腎不全研究会学術集会が開催されました。当院からは、臨床工学技士の富永さんが、持続グルコースモニタリング（CGM）を用いた透析中の血糖変動に関する研究発表を行いました。

CGMは、血糖値を24時間連続して測定できる機器です。透析中に起こる低血糖は、意識障害を引き起こすだけでなく、血管への大きな負担となるため、未然に防ぐことが非常に重要です。この装置により血糖変動を「見える化」することで、従来の方法では把握が難しかった急激な変動を捉えられるようになります。

得られたデータをもとに、医師による薬剤調整、栄養士による食事指導、臨床工学技士による透析条件管理を行うことで、患者様一人ひとりに応じたより細やかな治療が行え、患者様の生活を支える事ができます。今後も、職種の枠を越えた「チーム医療」を推進し、スタッフ一同、より安全で質の高い透析医療の提供に努めてまいります。

外部発表

APSDA2025　10/18　Grand Copthorne Waterfront Hotel
・Treatment Strategies for Stent Graft Placement（ポスター発表）　山陽病院 外科部長 医師　毛利教生

第31回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会　11/22-23　虎ノ門ヒルズフォーラム
・当院における腹膜透析治療の現状（発表）　山陽病院 外科 医師　橋本慎二

第34回 中国腎不全研究会学術集会　11/30　広島コンベンションホール
・持続グルコースモニタリング（CGM）を用いた透析患者における透析中血糖変動の実態把握（ポスター発表）　山陽腎クリニック 臨床工学技士　富永雄介